

八王子地域合同学園祭

第14回

★学生天国★

2019/05/12

5月12日（日）、JR八王子駅北口西放射線ユーロード及び三崎町公園・中町公園・横山町公園にて、「八王子学生委員会」主催の八王子地域合同学園祭「第14回★学生天国★（以下、学生天国）」が開催されました。

「学生天国」は、大学コンソーシアム八王子に加盟する25大学等が参加し、学生同士や学生と八王子市民が幅広く交流することを目的として行われています。

首都大学東京ボランティアセンターは、昨年に引き続き、展示・体験エリアにブースを出展しました。その他、ステージでは、アカベラサークル「das Lied」と「首都大学東京応援団」が出演していました。

◆首都大産の竹での的当てゲーム

昨年までは、ボランティアセンターの活動をまとめたポスターや地域ボランティアプログラムの活動の様子を写した写真の展示等を行ってきましたが、今年はブースに来てくださる方々が参加・体験できるように、展示に加え、「竹水鉄砲での的当て

ゲーム」を実施しました。

的当てゲームは、竹水鉄砲を使って、少し離れた場所からのペットボトルを5本倒すというものです。使用する竹水鉄砲は、事前に地域ボランティアプログラムのメンバーが首都大の敷地内にある松木日向緑地で採れた竹を加工し、作成しました。

今回の的当てゲームを体験してくれた子どもたちの多くは、プラスチック製の水鉄砲でしか遊んだことがないということだったので、本物の竹で作った水鉄砲に触れられる的当てゲームが貴重な体験になったようです。

体験ブースを運営した地域ボランティアプログラム及び学生コーディネーターの学生5人が、通りがかった地域の方々に積極的に声をかけたことや、気温が高く、水を使った涼しげな体験が魅力的だったこともあり、総勢108人の方々に体験していただくことができました。

特に、小学生や未就学児の子どもたちが大勢訪れ、順番待ちの列ができるほど、大盛況でした。子どもが的当てをしている間には、保護者の方々と学生が日頃のボランティア活動や大学生活等についての話をしている様子も見られました。中には、南大沢や日野キャンパスの近くにお住まいの方もおられ、首都大を身近に感じてくださっている方もお話しすることができました。

また、ボランティアセンターや各プログラムの活動に関心をもってくださる方々も多く、的当てゲームの参加者以外にも、32人の方とお話しすることができました。中には、展示を見ながら、実際に活動している学生から直接話を聞き、学生の活動に感心されていたり、学生に励ましの声をかけたりされている方もおられました。

今回の学生天国では、学生が体験企画や展示を通して、子どもからシニア世代までの幅広い世代の

方々と関わることができました。さらに、学生たちは、自分の活動を地域の方に直接伝えたり、励ましの言葉をもたらったりすることで、活動のやりがいや改めて感じる事ができたと話していました。

今後もボランティア活動やイベント参加等を通して、地域の方々と学生のつながりを豊かにしていきたいと思えます。



竹水鉄砲を使った的当てゲームの様子



学生コーディネーターが作成した活動紹介ポスターや『ぼらせん便り』『緑地新聞』等の情報紙等を展示した